

## 第 1 回緑区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

- ※ 黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。  
 ※ 「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。  
 ※ 網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。  
 ※ 「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（）」の番号を参照）  
 また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。  
 [例] 【1 - 1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き(1)と(4)」にそれぞれ該当。

## 【 I 】 緑区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

## 1 郷土愛を育てるまちづくり

- 1 高齢者と若い人が多くなっているが、自治会の構成など、高齢者と若い人とのバランスも重要になっている。
- 2 自治会の加入者が少なく、行政が区の加入を促す取り組みも必要では。
- 3 まちづくりのポイント 1 に案山子の発祥記念碑の写真があるが、今の子供たちは童謡を知らない状況である。
- 4 緑区のシニアクラブの加入率は 10 区で一番低く、支援をお願いしたい。
- 5 小学生でもお年寄りでも、人が行き交う場所がある街であるとよい。

## (1) 誰もが参加でき支え合うコミュニティづくりと地域のリーダーとなる人材育成の支援

- 1 自治体の加入率は将来に影響すると考えられ、対応していききたい課題だ。
- 2 まちづくりのポイント 1 について、「誰もが参加でき支え合うコミュニティづくり」の内容を具体的にしたい。  
 また取り組み内容の情報発信力を高める必要があるのではないかな。
- 3 花いっぱい活動を広範囲で区が推進していくと良い。
- 4 住民のつながり強化

## (2) 地域の文化財などの歴史・文化資源を活用し、子どもの時から自分のまちに関心を持つ、我がまちを誇りとするひとづくり

- 1 田んぼと用水があると子供たちは遊びにやってくる。そのような環境を取り戻すことに力を入れてほしい。【1-2、3-2】
- 2 子どもたちが地域活動に参加する仕組みづくりができると良い。
- 3 地域のイベントには子どもが出てくる。そのような子どもが出てこれる取り組みが大事ではないか。

- 4 アンケートから緑区への親しみ度合いが低い結果になっているが、愛着や誇りを育むような対策を行うべき。
- 5 まちづくりのポイント1について、「地域の文化財などの歴史・文化資源を活用し」とあるが内容を具体的にすべきである。  
具体的の例としては休憩所の設置や見沼にビクターセンターを設置することなどがある。

## 2生活者に優しいまちづくり

- 1 安全安心の街づくりに向け取り組んでいただきたい。
- 2 これからも緑区を住んでいて安全安心で住みよい街にしたい
- 3 浦和区、西区のようにスポーツ施設の充実も重要ではないか。

(1) 子育て支援、介護を必要とする人と介護をする人に対する支援の充実による、誰もが暮らしやすいまちづくり

- 1 ポイント2について、「子育て支援」、「介護」が同じ項目内に併記されているが、別々に項目立てする必要があるのでは。
- 2 またこの中には若者の支援、障がい者への支援項目もあってよいのでは。
- 3 高齢者の行く場所、集まる場所がないことが課題になっており、検討していただきたい。
- 4 バリアフリーの町
- 5 高齢化への対応

(2) 歩行者や自転車利用者が安全に利用できる道路環境の整備

- 1 歩道が整備されている（街路樹付きで）
- 2 公共交通機関が充実している（東北道の起点がある）
- 3 交通渋滞が多い
- 4 混合交通に対応した道路整備
- 5 交通マナーの悪化への対応

(3) 地域の人と人とのつながりを深め、防災・防犯に関する意識の高揚と対策の充実

## 3自然と共生するまちづくり

- 1 幹線道路の渋滞、それにとまなう生活道路への車の侵入があり、幹線道路の整備を進めるべきである。
- 2 特定の道路が混むことが課題となっている。

(1) 緑豊かな環境を生かし、その保全に配慮したまちづくり

1 区の名のとおり緑が多い

(2) 見沼田圃の農地や斜面林、雑木林などの自然環境の保全と活用

- 1 田んぼと用水があると子供たちは遊びにやって来る。そのような環境を取り戻すことに力を入れてほしい。【1-2、3-2】
- 2 見沼田んぼは緑区にとって大きな特徴であるので、アピールすべきポイントでは。
- 3 緑を守るには開発を制限する必要がある。
- 4 桜並木を区のシンボルにできればと考えている。
- 5 桜並等の名所に休憩所が無いので設置すれば賑わいが出てくるのでは。
- 6 緑と健康の一体イベントの開催

(3) 多様な野生生物の生息・生育空間となる緑地、水辺環境などの保全・再生

- 1 緑が多い 【2-1、3-3】
- 2 古い建造物が残っている
- 3 静かに暮らせる

#### 4 生活環境の整ったまちづくり

(1) 人と環境に優しい公共交通のさらなる充実

(2) 土地区画整理事業などによる計画的な市街地形成の推進

(3) ボランティア活動の活性化による、ごみの減量化やリサイクル活動の支援

#### 5 にぎわいのあるまちづくり

- 1 区には他に負けない観光資源があるのに認知されていない。
- 2 区の魅力をもっと発信していきたい。
- 3 見沼田んぼを活用していきたい。

(1) 駅周辺地域の生活利便性の向上とにぎわいの創出

- 1 駅前ばかりに商業施設があるのに駐輪、駐車スペースが少ない

(2) 産直販売や観光農園など、地産地消\*の取組による農業の活性化

(3) 駅や区役所周辺などにおける地域活動の環境づくり

- 1 大規模なイベントの開催

## 【Ⅱ】「緑区の将来像」の見直しに関するご意見

- 1 区の将来像について、緑区で夢と希望を持てる、ということを示すタイトルが良いのでは。
- 2 例えば、緑区の特色を生かしながら、住んで良かった緑区、住みたい街緑区、といったものが考えられる。
- 3 10区の中でこの様な将来像を描ける区は他にないのではないか。
- 4 区の将来像は素晴らしいと考えている。

## 【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

- 1 自治会の脱退の主な理由として、活動負担の増加や高齢化による脱退が目立っている。
- 2 空き家を高齢者の集う場所として活用できないだろうか。
- 3 環境共生の分野では、緑区がリーダーシップをとっていく必要がある。
- 4 見沼たんぼの中にグラウンドを作るのは難しいのでは。
- 5 区の中で地域ごとに特色が異なる。区全体の話と、地域ごとの話では内容が異なってくる。
- 6 高齢者を大切にするには大家族の復活が必要だろう。
- 7 見沼たんぼにより美園地区と浦和に近いエリアが分断されているように感じる。
- 8 両方の地域が交流できる場所の充実が出来ればと考えている。
- 9 大型店の出店と高齢化が背景に商店街が振るわなくなっている。
- 10 埼玉スタジアム（ネームバリューのあるランドマークがある）
- 11 町のづくりにこれといった特徴がない
- 12 埼玉スタジアムくらいしかランドマークがない
- 13 外国人の方も住みやすいまちにする
- 14 公園の整備